

令和3年度 第2四半期地域経済動向調査

(令和3年7月～9月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査（新温泉町商工会）

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査（全国商工会連合会）

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査（豊岡公共職業安定所）

<https://www.hwiroha.com/area/Hyogo/Toyooka.html>

④業種別業況判断

但馬の経済指標（兵庫県但馬県民局）

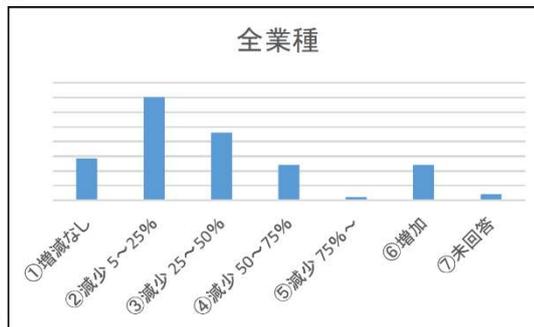
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

①会員アンケート調査 調査依頼 120 企業 回答 91 企業（うち QR22 企業）回答率 75.8%

1.売上状況

(令和2年7月～9月)と(令和3年7月～9月)の比較

全業種	7～9月	件数	構成比
①増減なし		13	14.3%
②減少 5～25%		32	35.2%
③減少 25～50%		21	23.1%
④減少 50～75%		11	12.1%
⑤減少 75%～		1	1.1%
⑥増加		11	12.1%
⑦未回答		2	2.2%
総計		91	100.0%



建設業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		8	44.4%
②減少 5～25%		2	11.1%
③減少 25～50%		2	11.1%
④減少 50～75%		1	5.6%
⑤減少 75%～		0	0.0%
⑥増加		4	22.2%
⑦未回答		1	5.6%
総計		18	100.0%

製造業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		1	8.3%
②減少 5～25%		5	41.7%
③減少 25～50%		3	25.0%
④減少 50～75%		1	8.3%
⑤減少 75%～		0	0.0%
⑥増加		2	16.7%
⑦未回答		0	0.0%
総計		12	100.0%

卸売業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		0	0.0%
②減少 5～25%		3	42.9%
③減少 25～50%		2	28.6%
④減少 50～75%		2	28.6%
⑤減少 75%～		0	0.0%
⑥増加		0	0.0%
⑦未回答		0	0.0%
総計		7	100.0%

小売業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		1	5.6%
②減少 5～25%		10	55.6%
③減少 25～50%		3	16.7%
④減少 50～75%		2	11.1%
⑤減少 75%～		0	0.0%
⑥増加		2	11.1%
⑦未回答		0	0.0%
総計		18	100.0%

飲食業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		2	18.2%
②減少 5～25%		2	18.2%
③減少 25～50%		3	27.3%
④減少 50～75%		3	27.3%
⑤減少 75%～		0	0.0%
⑥増加		0	0.0%
⑦未回答		1	9.1%
総計		11	100.0%

宿泊業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		0	0.0%
②減少 5～25%		1	10.0%
③減少 25～50%		6	60.0%
④減少 50～75%		2	20.0%
⑤減少 75%～		1	10.0%
⑥増加		0	0.0%
⑦未回答		0	0.0%
総計		10	100.0%

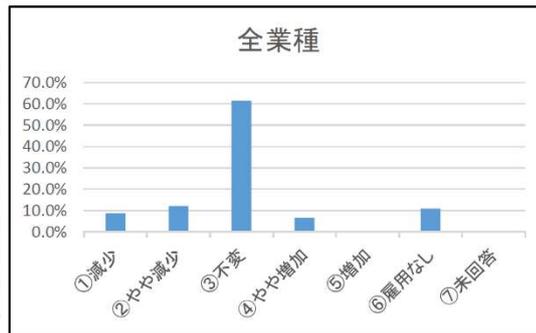
サービス業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		1	7.1%
②減少 5～25%		8	57.1%
③減少 25～50%		2	14.3%
④減少 50～75%		0	0.0%
⑤減少 75%～		0	0.0%
⑥増加		3	21.4%
⑦未回答		0	0.0%
総計		14	100.0%

農業	7～9月	件数	構成比
①増減なし		0	0.0%
②減少 5～25%		1	100.0%
③減少 25～50%		0	0.0%
④減少 50～75%		0	0.0%
⑤減少 75%～		0	0.0%
⑥増加		0	0.0%
⑦未回答		0	0.0%
総計		1	100.0%

2.雇用状況

(令和3年6月30日)と(令和3年9月30日)の比較

全業種		
9月30日	件数	構成比
①減少	8	8.8%
②やや減少	11	12.1%
③不変	56	61.5%
④やや増加	6	6.6%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	10	11.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	91	100.0%



建設業		
9月30日	件数	構成比
①減少	1	5.6%
②やや減少	1	5.6%
③不変	14	77.8%
④やや増加	1	5.6%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	5.6%
⑦未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

製造業		
9月30日	件数	構成比
①減少	1	8.3%
②やや減少	4	33.3%
③不変	4	33.3%
④やや増加	1	8.3%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	2	16.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
9月30日	件数	構成比
①減少	1	14.3%
②やや減少	0	0.0%
③不変	5	71.4%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	14.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
9月30日	件数	構成比
①減少	1	5.6%
②やや減少	3	16.7%
③不変	10	55.6%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	4	22.2%
⑦未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

飲食業		
9月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	1	9.1%
③不変	7	63.6%
④やや増加	2	18.2%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	9.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
9月30日	件数	構成比
①減少	4	40.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	6	60.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

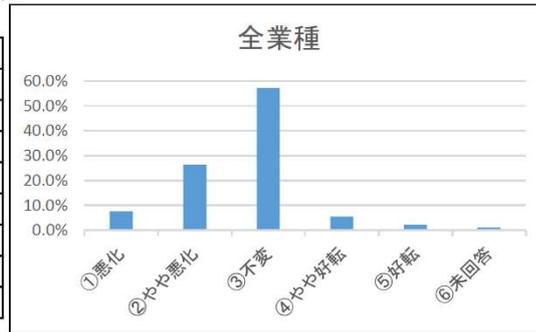
サービス業		
9月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	2	14.3%
③不変	10	71.4%
④やや増加	1	7.1%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	7.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

農業		
9月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	0	0.0%
④やや増加	1	100.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

3.資金繰り状況

(令和3年6月30日)と(令和3年9月30日)の比較

全業種		
9月30日	件数	構成比
①悪化	7	7.7%
②やや悪化	24	26.4%
③不変	52	57.1%
④やや好転	5	5.5%
⑤好転	2	2.2%
⑥未回答	1	1.1%
総計	91	100.0%



建設業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	3	16.7%
③不変	14	77.8%
④やや好転	1	5.6%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

製造業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	2	16.7%
②やや悪化	1	8.3%
③不変	9	75.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	2	28.6%
②やや悪化	4	57.1%
③不変	1	14.3%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	9	50.0%
③不変	8	44.4%
④やや好転	1	5.6%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

飲食業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	1	9.1%
②やや悪化	2	18.2%
③不変	6	54.5%
④やや好転	2	18.2%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	2	20.0%
②やや悪化	3	30.0%
③不変	4	40.0%
④やや好転	1	10.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

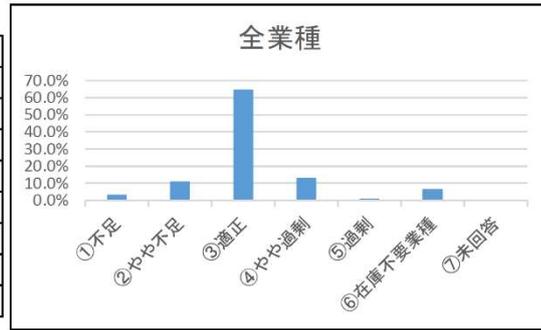
サービス業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	2	14.3%
③不変	9	64.3%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	2	14.3%
⑥未回答	1	7.1%
総計	14	100.0%

農業		
9月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

4.在庫状況

(令和3年9月30日現在)

全業種		
9月30日	件数	構成比
①不足	3	3.3%
②やや不足	10	11.0%
③適正	59	64.8%
④やや過剰	12	13.2%
⑤過剰	1	1.1%
⑥在庫不要業種	6	6.6%
⑦未回答	0	0.0%
総計	91	100.0%



建設業		
9月30日	件数	構成比
①不足	2	11.1%
②やや不足	0	0.0%
③適正	12	66.7%
④やや過剰	1	5.6%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	3	16.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

製造業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	8.3%
③適正	9	75.0%
④やや過剰	1	8.3%
⑤過剰	1	8.3%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	14.3%
③適正	4	57.1%
④やや過剰	2	28.6%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	4	22.2%
③適正	11	61.1%
④やや過剰	3	16.7%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

飲食業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	18.2%
③適正	7	63.6%
④やや過剰	2	18.2%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	6	60.0%
④やや過剰	3	30.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	10.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

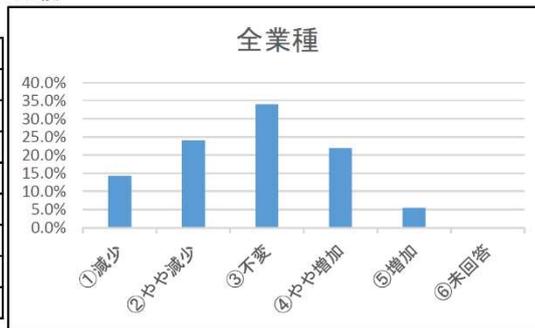
サービス業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	14.3%
③適正	10	71.4%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	2	14.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

農業		
9月30日	件数	構成比
①不足	1	100.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	0	0.0%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

5.今後の見通し(売上高)

(令和3年7月～9月)と(令和3年10月～12月)の比較

全業種		
10～12月	件数	構成比
①減少	13	14.3%
②やや減少	22	24.2%
③不変	31	34.1%
④やや増加	20	22.0%
⑤増加	5	5.5%
⑥未回答	0	0.0%
総計	91	100.0%



建設業		
10～12月	件数	構成比
①減少	2	11.1%
②やや減少	5	27.8%
③不変	10	55.6%
④やや増加	1	5.6%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①減少	2	16.7%
②やや減少	3	25.0%
③不変	4	33.3%
④やや増加	3	25.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①減少	1	14.3%
②やや減少	2	28.6%
③不変	1	14.3%
④やや増加	2	28.6%
⑤増加	1	14.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①減少	3	16.7%
②やや減少	6	33.3%
③不変	4	22.2%
④やや増加	5	27.8%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①減少	1	9.1%
②やや減少	1	9.1%
③不変	4	36.4%
④やや増加	4	36.4%
⑤増加	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①減少	2	20.0%
②やや減少	3	30.0%
③不変	0	0.0%
④やや増加	3	30.0%
⑤増加	2	20.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

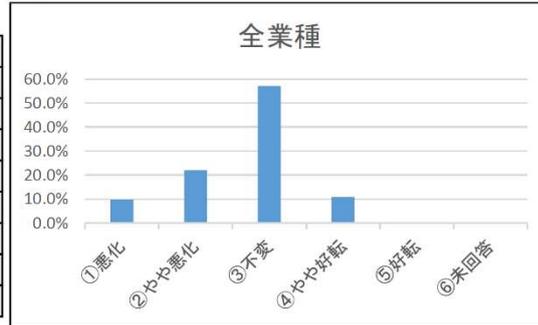
サービス業		
10～12月	件数	構成比
①減少	2	14.3%
②やや減少	1	7.1%
③不変	8	57.1%
④やや増加	2	14.3%
⑤増加	1	7.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

農業		
10～12月	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

6.今後の見通し(資金繰り)

(令和3年7月～9月)と(令和3年10月～12月)の比較

全業種		
10～12月	件数	構成比
①悪化	9	9.9%
②やや悪化	20	22.0%
③不変	52	57.1%
④やや好転	10	11.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	91	100.0%



建設業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	2	11.1%
②やや悪化	6	33.3%
③不変	10	55.6%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	8.3%
②やや悪化	1	8.3%
③不変	9	75.0%
④やや好転	1	8.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	14.3%
②やや悪化	1	14.3%
③不変	5	71.4%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	2	11.1%
②やや悪化	8	44.4%
③不変	6	33.3%
④やや好転	2	11.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	9.1%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	6	54.5%
④やや好転	4	36.4%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	10.0%
②やや悪化	1	10.0%
③不変	6	60.0%
④やや好転	2	20.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

サービス業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	7.1%
②やや悪化	3	21.4%
③不変	9	64.3%
④やや好転	1	7.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

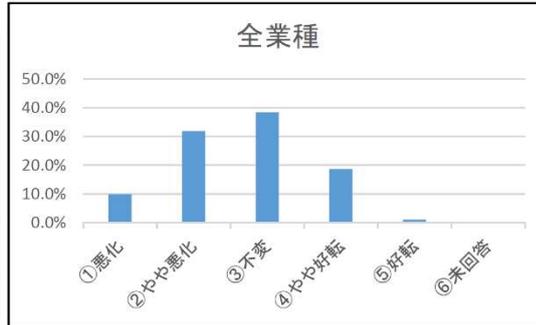
農業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

7. 今後の見通し(業況判断)

(令和3年7月～9月)と(令和3年10月～12月)の比較

全業種

10～12月	件数	構成比
①悪化	9	9.9%
②やや悪化	29	31.9%
③不変	35	38.5%
④やや好転	17	18.7%
⑤好転	1	1.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	91	100.0%



建設業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	5.6%
②やや悪化	7	38.9%
③不変	9	50.0%
④やや好転	1	5.6%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	8.3%
②やや悪化	3	25.0%
③不変	5	41.7%
④やや好転	3	25.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	14.3%
②やや悪化	4	57.1%
③不変	1	14.3%
④やや好転	1	14.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	5.6%
②やや悪化	7	38.9%
③不変	6	33.3%
④やや好転	3	16.7%
⑤好転	1	5.6%
⑥未回答	0	0.0%
総計	18	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	1	9.1%
②やや悪化	1	9.1%
③不変	6	54.5%
④やや好転	3	27.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

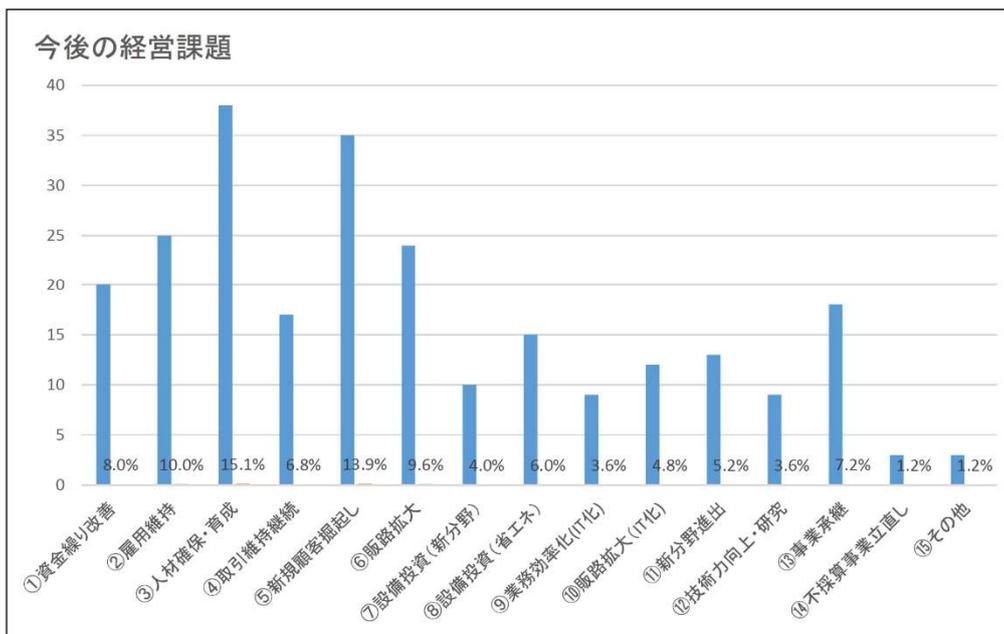
宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	2	20.0%
②やや悪化	3	30.0%
③不変	2	20.0%
④やや好転	3	30.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

サービス業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	2	14.3%
②やや悪化	4	28.6%
③不変	5	35.7%
④やや好転	3	21.4%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

農業		
10～12月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

8.今後の経営課題(複数回答可)

経営課題	件数	構成比
①資金繰り改善	20	8.0%
②雇用維持	25	10.0%
③人材確保・育成	38	15.1%
④取引維持継続	17	6.8%
⑤新規顧客掘起し	35	13.9%
⑥販路拡大	24	9.6%
⑦設備投資(新分野)	10	4.0%
⑧設備投資(省エネ)	15	6.0%
⑨業務効率化(IT化)	9	3.6%
⑩販路拡大(IT化)	12	4.8%
⑪新分野進出	13	5.2%
⑫技術力向上・研究	9	3.6%
⑬事業承継	18	7.2%
⑭不採算事業立直し	3	1.2%
⑮その他	3	1.2%
総計	251	100.0%



②中小企業景況感 (DIは、増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた値を示します。)

製造業

輸出関連の中小製造業には改善の動き

<主要3DIの動き>

- ・主要3DIの前年同期比をみると、昨期から売上額、採算で下落、資金繰りはほぼ横ばいとなった。動きだけを見れば冴えないものの、水準は4業種の中で最も高い(マイナス幅が小さい)。米国、中国の景気回復に伴う輸出の拡大が輸出関連業種を中心に中小製造業にも好影響を与えていると推測される。ただ、採算の水準がやや低いのは、原材料価格の上昇がコスト増に繋がっている背景がある。
- ・売上額DIの内訳を見ると、「好転」が1.2ポイント減少し約3割、「悪化」は0.7ポイント増加して4割強。「悪化」は1年前に約75%に達していたが、30ポイント以上低下し、輸出主導で回復の兆しが見え始めている。「好転」も1年前から約20ポイント増加した。ただし、来期は悪化予想となっており、予断は許さない状況。
- ・売上額DI：-12.6(前期比-1.9ポイント)：小幅下落
採算DI：-23.2(前期比-2.9ポイント)：下落
資金繰りDI：-15.1(前期比-0.4ポイント)：ほぼ横ばい

<経営上の問題点：最大の問題としては指摘された要因>

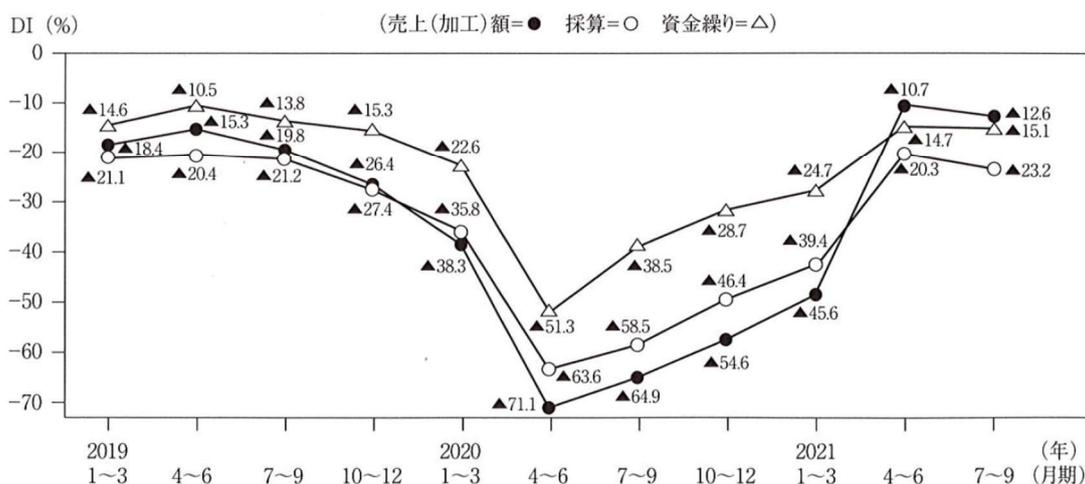
- 1位 需要の停滞(30.2%)
 - 2位 原材料価格の上昇(18.2%)
 - 3位 生産設備の不足・老朽化(10.2%) ()内は同要因を指摘する経営者の割合
- ・1～3位の順位は昨期から不変。1位「需要の停滞」を指摘する経営者の割合は3ポイント強減少した。半面、2位「原材料価格の上昇」は5ポイント弱増加している。これらの2要因を1年前と比較すると、さらに顕著な動きがみられ、「需要の停滞」は約14ポイント減少、「原材料価格の上昇」は逆に同程度の増加が確認される。海外需要の回復等に伴って、原材料調達コストが上昇し、結果的に売上の回復に採算の改善が追い付いていないと推測される。

<タイプ別にみた売上額DI>

- ・売上額DIの業種別内訳をみると17業種中、7業種で前期から改善、10業種で悪化した。輸出関連業種のうち、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、精密機械器具製造業(以上を合わせてサンプル構成比の25.6%)で2桁ポイント改善した。半面、内需型とみられる食品製造業(同25.7%)は2桁ポイントの下落となった。水準も輸出関連産業で高い傾向にある。
- ・地域別では都市部で水準が高く(マイナス幅が小さく)、従業員規模別にみると大規模な中小製造業の水準が高い傾向にある。

1. 主要3項目の動き

(図2-1) 主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	34.9	△1.9			19.1	△2.9		
前年比	60.4	52.3			43.3	35.3		

建設業

コスト要因が下押し圧力となり採算・資金繰りが悪化

<主要3 DI の動き>

- ・主要3DIの前年同期比をみると、主要3DIはそろって下落した。水準は1年前と比べて高いものの、今期は採算、資金繰りの下落幅が大きい。
- ・来期予想もやや悲観的となっており、回復の足取りには懸念が残る。
- ・完成工事額DIの内訳をみると、「好転」は昨期から2.7ポイント減少、「悪化」は0.5ポイント増加した。「好転」は2割強、「悪化」と「不変」がそれぞれ約4割という構図であり、全体として明るさはみられない。

完成工事（請負工事）額 DI：-18.0（前期比-3.2ポイント）：下落

採算（経常利益）DI：-26.2（前期比-6.3ポイント）：大幅下落

資金繰り DI：-10.0（前期比-6.5ポイント）：大幅下落

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

1位 材料価格の上昇（26.9%）

2位 従業員の確保難（16.3%）

3位 民間需要の停滞（13.5%）（ ）内は同要因を指摘する経営者の割合

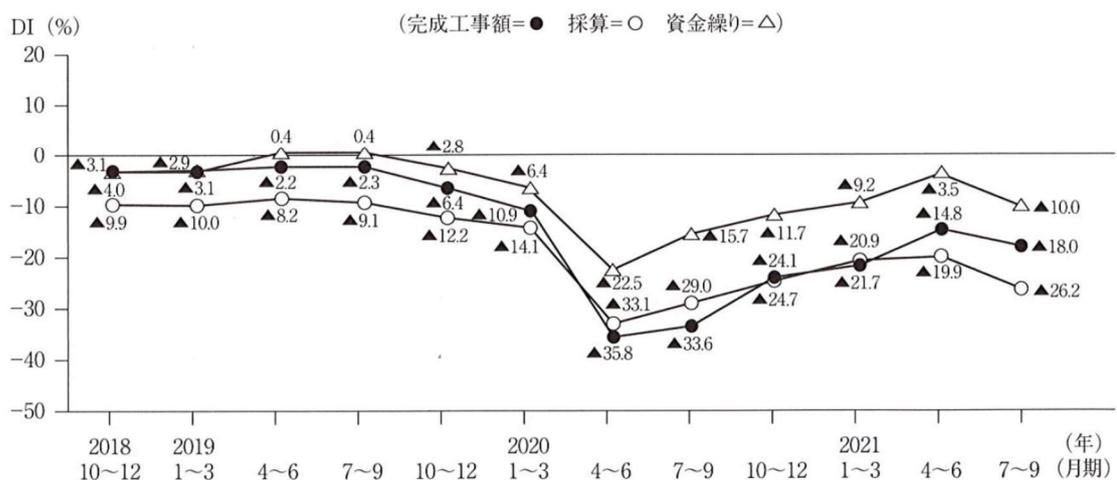
- ・1～3位の順位は昨期から不変。1位「材料価格の上昇」を指摘する経営者の割合は昨期から7.4ポイントと大幅に増加した。1年前との比較では、19ポイントも増加している。
- ・2位「従業員の確保難」は昨期から1.1ポイントの微増。ただ、1年前と比較すると3.4ポイント減。3位「民間需要の停滞」は昨期からほぼ横ばいの動き。1年前との比較では、7ポイント減少している。経営上の問題点は、全般に需要要因からコスト増にシフトする傾向がみられ、一部に人手不足感も根強いことがうかがえる。

<タイプ別にみた完成工事額 DI >

- ・建設業中の業種内訳をみると、今期は設備工事業で大幅に悪化し、水準でみても総合工事業、職別工事業と比べて低い。ただ、同業種の構成比は2割弱のため、中小建設業全体への影響は大きくない。
- ・地域別にみると、8地域中、関東、北海道を除いて6地域で悪化した。東北、近畿は2桁ポイントの悪化。水準では、北海道で高い（マイナス幅が小さい）ほか、大きな特徴はみられない。
- ・人口規模別にみると、郡部・農村部（人口一万人未満の地区）で2桁ポイントの大幅悪化がみられたが、水準的にはいずれの地区もほとんど差がない。
- ・従業員規模別にみると、今期の動きはまちまち。従業員51人以上の比較的大規模な中小建設業において、水準がプラスとなっている（ただしサンプル構成比は1.2%）。

1. 主要3項目の動き

〈図3-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	6.9	△3.2			▲1.0	△6.3		
前年比	21.0	15.6			13.2	△2.8		

小売業

コロナ禍による需要減退に加え、一部にコスト増の兆しも

<主要3 DIの動き>

- ・主要3DIの前年同期比はそろって昨期から下落、売上額、採算は大幅な下落となった。特に売上額の悪化が顕著で、コロナ禍の緊急事態宣言発出などによる悪影響が中小小売業を直撃したと推測される。それでも3DIとも1年前よりは高い水準を保っている。
- ・来期は今期とほぼ横ばいの予想であり、改善の見通しは描けていない。
- ・売上額DIの内訳を見ると、「好転」が6.6ポイント減少、「悪化」は8.8ポイント増加した。「好転」の割合は15%、「悪化」は6割弱に達し、「不変」は4分の1強という状況。
 売上額DI：-42.9（前期比-15.4ポイント）：大幅下落
 採算DI：-44.0（前期比-7.2ポイント）：大幅下落
 資金繰りDI：-28.0（前期比-4.4ポイント）：下落

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

- 1位 需要の停滞 (26.4%)
 - 2位 消費者ニーズの変化 (11.8%)
 - 3位 購買力の他地域への流出 (11.3%)
 - 3位 大型店・中型店の進出による競争の激化 (11.3%)
- ()内は同要因を指摘する経営者の割合

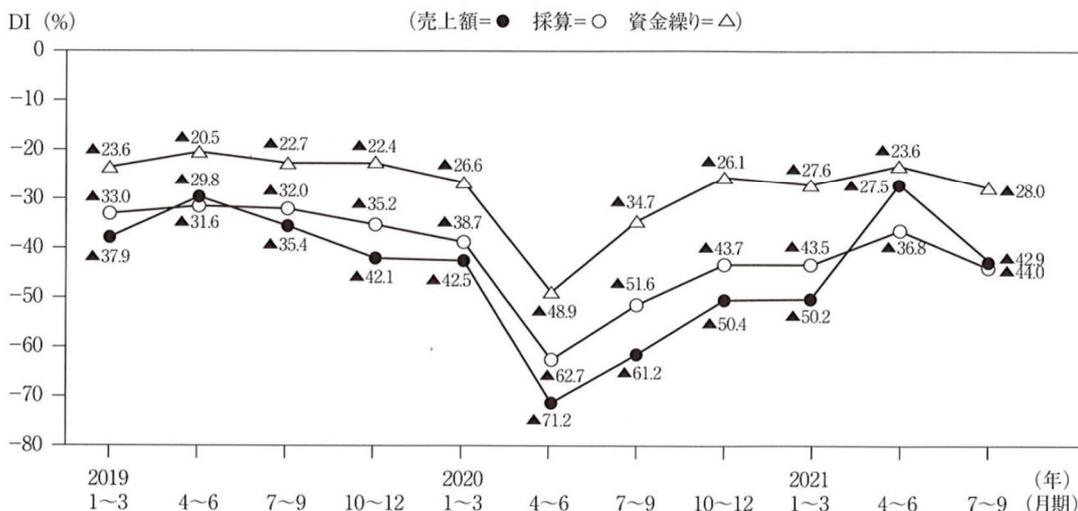
- ・今期の1, 2位の順位は昨期から変わっていない。1位「需要の停滞」を指摘する経営者の割合は昨期からほぼ横ばい。2位「消費者ニーズの変化」は微減。3位は今期新たに同率で「大型店・中型店の進出による競争の激化」が「購買力の他地域への流出」に並んだ。2, 3位の3要因は中小小売業が抱える構造的な（中長期的な）問題点とみられるが、全体の3分の1程度となっている。同比率は1年前とほぼ同水準、半年前からは数ポイント下がった。半面、4位「仕入単価の上昇」（指摘割合9.8%）は1年前から数ポイント増加している。需要停滞感の高止まりに加え、コスト増と構造的な要因が中小小売業の経営を圧迫していることが推測される。

<タイプ別にみた売上額DI>

- ・小売業の中で業種別の内訳をみると、6業種中、自動車・自転車小売業を除く5業種で悪化した。織物・衣服・身の回り品小売業は昨期から30ポイント近く下落し、マイナス60を下回る水準に低迷している。サンプル構成比の4割強を占める飲食料品小売業も2桁ポイントの悪化となった。水準はいずれの業種も低い。
- ・地域別にみると、北海道以外、郡部・農村部（人口一万人未満の地区）以外で大幅な悪化がみられた。コロナ禍の広がりが背景とみられる。
- ・従業員規模別にみると、比較的大規模な業態も含め、すべての規模で悪化した。

1. 主要3項目の動き

〈図4-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	22.7	△15.4			6.7	△7.2		
前年比	43.7	18.3			25.9	7.6		

サービス業

飲食店・宿泊業を中心に大幅に後退

<主要3 DIの動き>

- ・主要3DIの前年同期比は昨期からそろって大幅に下落した。特に、売上額は25ポイント以上の記録的下落となった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出によって、中小サービス業が大きな打撃を受けたと推測される。水準も小売業とはほぼ同じ水準に低迷している。それでも1年前よりも高い水準にあり、コロナ禍の中で対応能力を模索・醸成しつつあることも推測される。
- ・来期予想も今期とほぼ変わらず、悲観的な見通しとなっている。
- ・売上額DIの内訳をみると、「好転」は13.7ポイント減少、「悪化」は11.7ポイント増加した。「好転」が14%強、「悪化」は56%弱、「不変」は約3割という状況。

売上額DI： - 41.3（前期比 - 25.4ポイント）：大幅下落

採算DI： - 41.8（前期比 - 12.1ポイント）：大幅下落

資金繰りDI： - 29.4（前期比 - 6.5ポイント）：大幅下落

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

1位 需要の停滞（33.4%）

2位 利用者ニーズの変化（15.7%）

3位 店舗施設の狭隘・老朽化（8.1%）（ ）内は同要因を指摘する経営者の割合

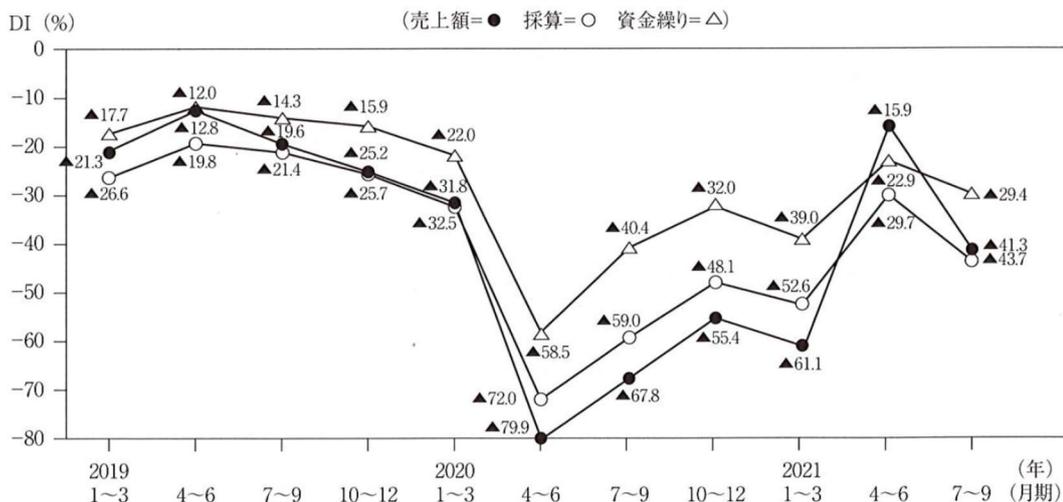
- ・今期の順位1～3位は昨期から変わっていない。1位「需要の停滞」を指摘する経営者の割合は昨期から微増、2位「利用者ニーズの変化」はほぼ横ばい（微減）となった。3位「店舗施設の狭隘・老朽化」はほぼ横ばいである。このほか、今期は4位「従業員の確保難」（指摘割合6.0%、昨期からほぼ横ばい）に「材料等仕入単価の上昇」（昨期から微増、1年前から2.5ポイント増）が同率で並ぶ。需要停滞感が強いこととともに、コスト上昇に対する警戒感が一部に浮上していることがわかる。

<タイプ別にみた売上額DI>

- ・サービス業の中で業種別の内訳をみると6業種中、運送業を除く5業種で悪化した。特に、飲食店（一般・遊興）（昨期から41.8ポイント下落）、宿泊業（同35.1ポイント下落）が目立つ。水準も極めて低いが、それでも1年前と比べると高い。
- ・地域別にみると、8地域すべてにおいて大幅に下落した。水準の地域差は大きくない。
- ・人口規模別でも、全地域で悪化した。いずれの地域も水準は低く地域差は小さい。
- ・従業員規模別の動きをみても、全規模で大幅な悪化がみられた。比較的大規模な業態での悪化幅が大きいのが、水準では2人以下の零細経営（サンプル構成比62.2%）において最も低い。

1. 主要3項目の動き

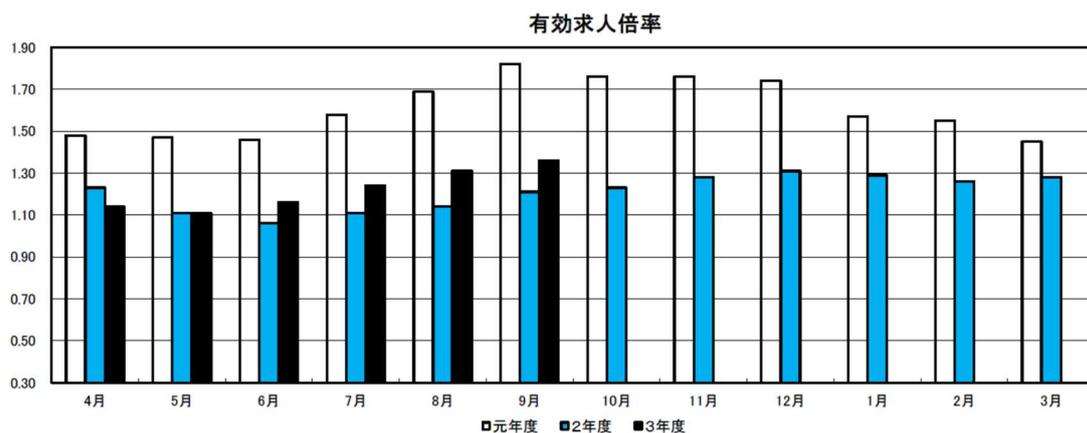
〈図5-1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	45.2	△25.4			22.9	△12.1		
前年比	64.0	26.5			42.3	15.3		

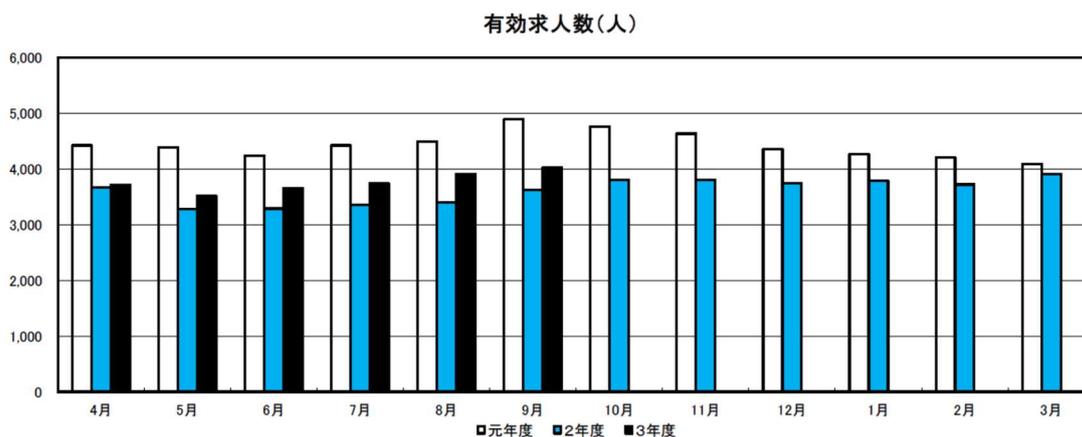
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査」より抜粋)

③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	1.48	1.47	1.46	1.58	1.69	1.82	1.76	1.76	1.74	1.57	1.55	1.45	1.61
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31	1.29	1.26	1.28	1.21
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36							
対前月(増減)	△0.14	△0.03	+0.05	+0.08	+0.07	+0.05							—
対前年(増減)	△0.09	0.00	+0.10	+0.13	+0.17	+0.15							—

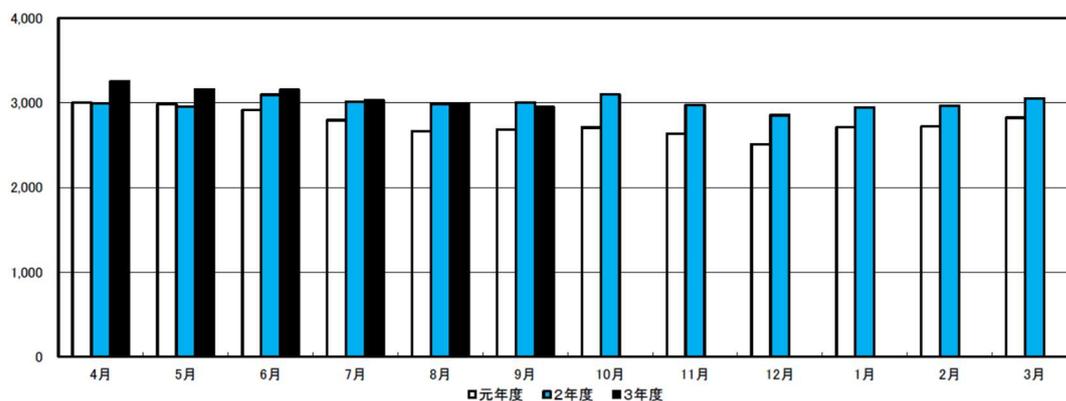
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	4,426	4,388	4,244	4,429	4,490	4,896	4,763	4,636	4,362	4,271	4,213	4,096	4,435
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753	3,792	3,724	3,909	3,620
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026							3,763
前月比(%)	△4.78	△5.48	+3.95	+2.30	+4.54	+2.94							—
前年同月比(%)	+1.17	+7.03	+11.09	+11.44	+15.00	+11.03							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

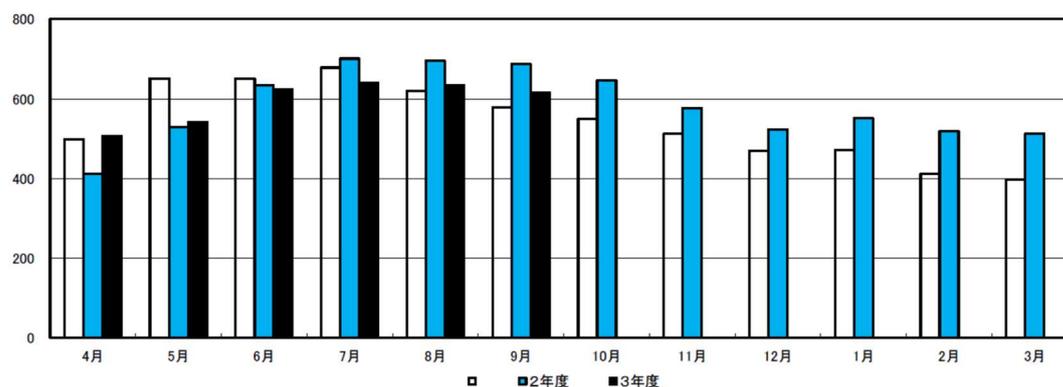
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	3,000	2,983	2,916	2,795	2,663	2,686	2,709	2,638	2,511	2,713	2,722	2,824	2,763
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854	2,949	2,964	3,052	2,995
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954							3,090
前月比(%)	+6.68	△2.89	△0.25	△3.96	△1.55	△0.94							—
前年同月比(%)	+8.64	+6.93	+1.91	+0.56	△0.07	△1.66							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	499	651	651	678	620	579	549	512	469	472	412	398	541
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522	551	519	512	582
3年度	507	542	624	640	634	615							594
前月比(%)	△0.98	+6.90	+15.13	+2.56	△0.94	△3.00							—
前年同月比(%)	+23.06	+2.46	△1.58	△8.70	△8.78	△10.48							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)

④業種別業況判断

主要業種の概況

道路旅客 運送業	景況感は悪い。コロナ禍前と比較してバスが2,000台減便し、2億円の損失。指定管理施設の利用者数も大幅に減少しているが、グランピング施設の利用者数は変動がない。旅行内容の見直し、貸切バス事業の強化、新商品の開発を行い、コロナ後を見据えた準備を行う。バスの運行以外の分野にも力を入れる。高速バスの運転手を路線バスの運転手に変更する等、体への負担を軽減させる取り組みを行い、高齢者が働き続けられる環境を整備する。
その他 製造業	景況感はさほど良くない。コロナ禍のみが直接要因ではないが、7.8.9月の全体の売上は前年度と比較して減少する見通し。石油製品や紙の価格が上昇し、業界にマイナスの影響を与える。有給休暇の時間単位取得に取り組んでいるが、1日単位で取得する人が多い。従業員は48人であり、中途採用で入社した人が95.8%を占める。正社員とキャリアを積んで再任用された人、それぞれの対応についてバランスをとるのが難しい。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年7月)」より

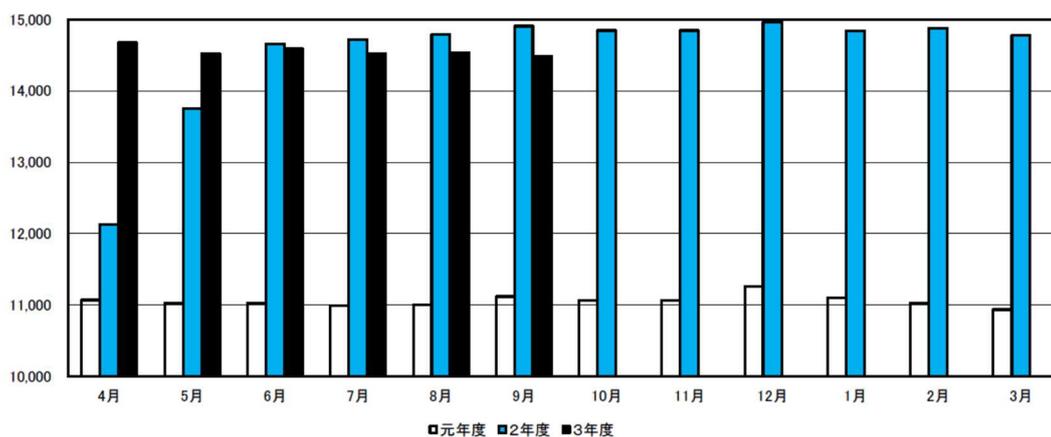
銀行業	景況感はさほど良くない。不動産、建設、医療の外来診療は景況感が回復している。宿泊、飲食、イベントは景況感が悪い。融資件数、金額ともに昨年同時期(R2.7~9月)より約50%減少している。原因は、新型コロナウイルス対策における制度融資(無利子・保証料なし)が600億円あったことによる。この制度融資を利用して資金調達できている企業が多い。雇用については、技術職の人員のみ不足している企業が多い。取引先のビジネスサービス会社を吸収し、従業員数が150人以上増加した。
金属製品 製造業	景況感はさほど良くない。新型コロナウイルス感染症による影響はない。自動車業界や電気機器メーカーは、半導体不足の影響を受けている。半導体不足の原因は、茨城にある大手半導体企業で、今年3月に火災が起きたためである。離職率が低い地元の人材を確保したいため、申し入れがある高校に関しては就業体験を行う。地元の優秀な人材がUターン就職をする時に、就職先の候補にしてもらえるよう、企業の名前や雰囲気だけでも認知してもらえるような取り組みをしたいと考えている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年8月)」より

印刷・関連業	景況感は悪い。7.8.9月の全体の売上は前年度比で3%減少。印刷業界の売上としては、コロナ禍により1~2割落ち込む。アクリル事業等、印刷業の関連事業に力を入れる。水族館や動物園のお土産品の売上は、例年1億円だが、7000万円に落ち込む。コロナ禍が落ち着くまでは、大卒を育てる余裕がない。新卒採用では、高校生のみを募集する。中途採用では、即戦力となる、同じ職種から転職する人材を求める。
宿泊業	景況感は悪い。昨年のGoToトラベルの影響を受け、7.8.9月の全体の売上は前年度比で70%減少。11月から3月はカニのシーズンであることや、ワクチン接種が進んでいることを踏まえ、3か月後の景況感は、現在より良くなると予想。コロナ禍により、2週間前から当日の予約が増えている。今後は客単価を上げることを検討中。当地域では、社員の解雇や廃業に追い込まれた旅館はない。地域全体で実施している外国人学生の受け入れが実施できず、人材不足を懸念している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年9月)」より

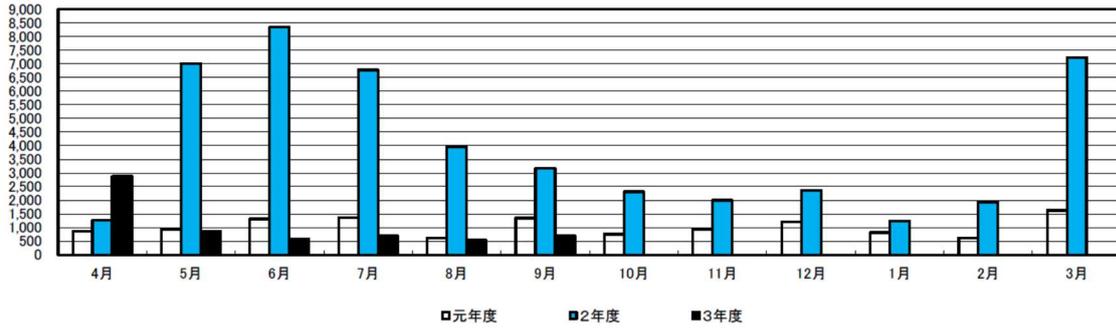
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	11,073	11,024	11,031	10,992	11,008	11,122	11,062	11,066	11,258	11,105	11,034	10,938	11,059
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964	14,837	14,875	14,777	14,508
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487							14,554
前月比(%)	△0.70	△1.09	+0.52	△0.45	+0.10	△0.35							—
前年同月比(%)	+20.97	+5.56	△0.46	△1.33	△1.72	△2.82							—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

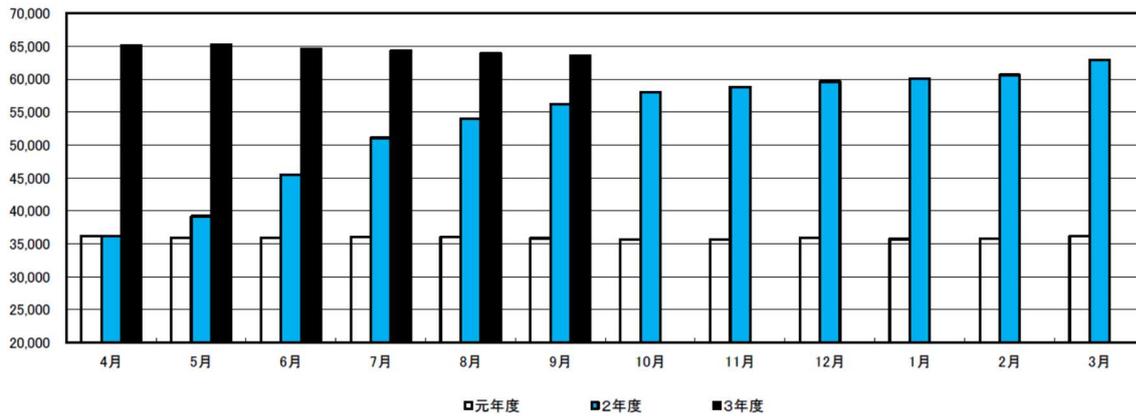
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	865	934	1,319	1,368	615	1,348	759	925	1,209	817	624	1,627	1,034
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362	1,233	1,929	7,230	3,968
3年度	2,874	862	588	690	533	716							1,044
前月比(%)	△60.25	△70.01	△31.79	+17.35	△22.75	+34.33							—
前年同月比(%)	+128.64	△87.72	△92.95	△89.82	△86.58	△77.47							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

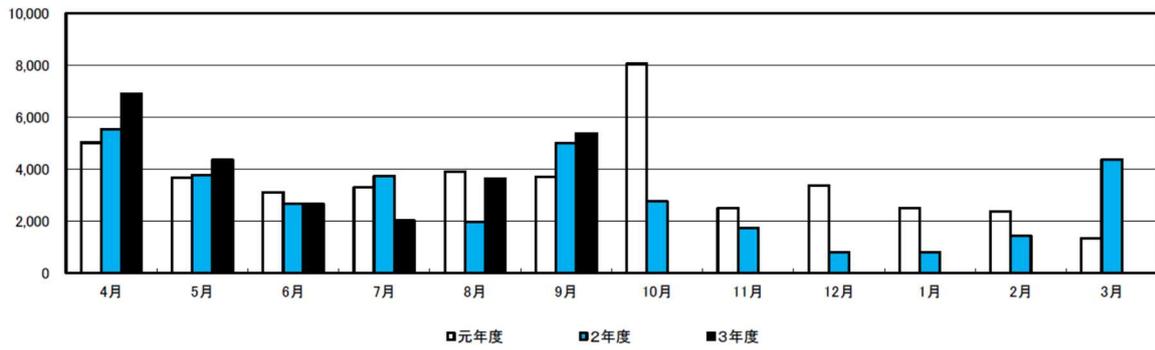


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	36,183	35,966	35,869	36,013	36,064	35,856	35,678	35,635	35,926	35,721	35,735	36,121	35,897
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633	60,075	60,667	62,951	53,512
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574							64,461
前月比(%)	+3.41	+0.25	△1.02	△0.42	△0.66	△0.51							—
前年同月比(%)	+80.19	+66.45	+42.1	+25.9	+18.44	+13.19							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

公共工事

公共工事請負金額(百万円)

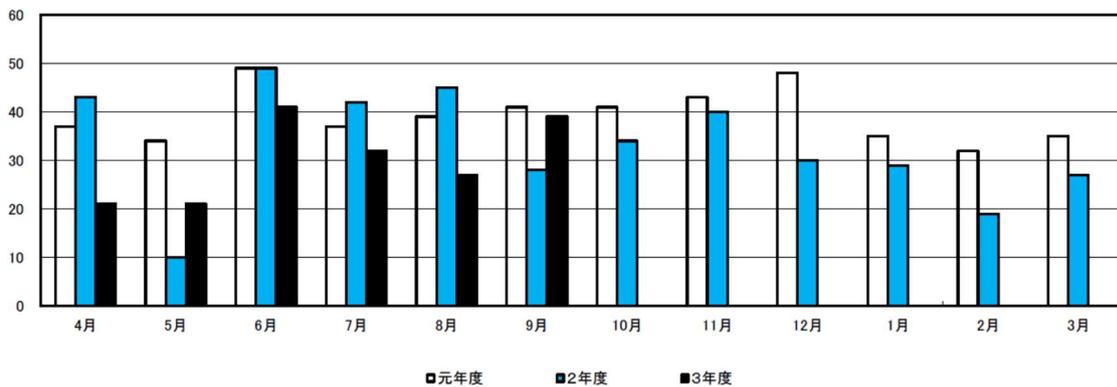


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	5,010	3,657	3,104	3,296	3,898	3,678	8,053	2,491	3,358	2,487	2,357	1,334	3,560
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783	798	1,420	4,350	2,874
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374							4,149
前月比 (%)	58.32	△ 36.85	△ 39.25	△ 24.00	81.08	47.80							—
前年同月比 (%)	24.27	15.33	△ 0.71	△ 46.12	85.79	7.33							—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	37	34	49	37	39	41	41	43	48	35	32	35	471
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30	29	19	27	396
3年度	21	21	41	32	27	39							181

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)